オフロードのマウンテンバイクレースを融合した競技の魅力に触れた。

自転車競技選手の冬季トレーニングの一環として、約百年前に欧州で生まれたシクロクロス。コースは舗装道路だけでなく草地や砂利などの悪路

急斜面を駆け上がるシクロ
通寺市与北町、鉢伏ふれあ

で開催。大勢の家族連れが白い蒸気を吹き上げるミニSLに乗車し歓声を上げた。イベントは二十四日もある＝写真＝。

高松駅は一八九七年に開業。サンポート高松の整備に伴い、二〇〇一年

利用者100万人突破

佐々木さん（善通寺）に記念品

琴平町五條の総合型地域スポーツクラブ「ヴィスポことひら」の会員延べ利用者数が二十三日、オープンから三年で百万人を突破した。節目の利用者となった善通寺市下吉田町の丸亀市臨時職員・佐々木豊一さん（六四）に記念品などが贈られた。

同クラブは、町いこいの郷公園内に二〇〇四年十一月にオープンした町民体育館を拠点に活動。こんぴらスポーツ財団（理事長・山下琴平町長）が運営し、メーンアリーナのほか、二十五㍍七コースのプールやダンススタジオ、ウエートトレーニング室を活用して、地域で活動する各種目の専門コーチらが指導を担当している。

今年九月に会員となり、週二回程度ウエートトレーニング室などを利用している佐々木さんはこの日、妻の悠子さん（六一）とともに来館。くす玉で祝福され、山下町長から記念品を受け取ると「設備が充実している上、スタッフの対応も良くリフレッシュできる場。これからも定期的に利用したい」と笑顔で話していた。

100万人目の会員利用者となり山下町長らとともに節目を祝う佐々木さん＝琴平町五條、ヴィスポことひら

43年間ありがとう

亀城・亀山公園遊園地 こならイベント

四十三年間、ありがとう！。丸亀城のある亀山公園の遊園地（丸亀市一番丁）が二十三日、閉園を前にさよならイベントを開いた。人気の遊具を無料開放し、来場者に風船などをプレゼント。晩秋の晴天が広がる園内には大勢の家族連れらが詰め掛け、子どもたちは大満喫。

この日は午前十時のオープンとともに、親子らが続々と来場。目玉遊具として人気を集めたミニSL「弁慶号」と、キリン型のエアドーム、水槽の中のおもちゃの魚を釣り上げるゲームが無料開放された。

園内は色とりどりの万国旗や風船が飾られ、音楽が流れるなどにぎやかな雰囲気。丸亀市の並松弥生さん（四三）は「子どもが歩けるようになってから何度も来ていたのに…」と残念がった。家族四人で来た同市の高橋秀二さん（三六）は「閉園になると聞いて来た。寂しいけれどきょう一

出会いから結婚へ

淡路島でお見合いツアー

土庄町が参加者募集

土庄町は結婚を望む独身男女に出会いの場を提供しようと、12月９日に「おせっかいツアーｉｎ淡路島」を開催する。現在、参加者を募集しており、募集対象・定員は25歳から45歳までの男女各10人程度。男性は小豆郡内在住者、女性の居住地は問わない。締め切りは26日。

少子化対策の一環で、７月に同町内のホテルで開催した「おせっかいパーティー」に続き２回目。終了後のアンケートで聞かれた「共同作業をしてもっと人柄を知りたい」などの意見を参考に、今回はツアー形式にし、淡路島の牧場で牛乳搾りやバター作りなどの体験メニューを盛り込んだ。

午前８時半に高松駅前に集合し、同９時に貸し切りバスで出発。鳴門公園なども観光する。帰高は午後５時の予定。参加費は男性5000円、3000円。町役場や公民館、図書館、コンビニエンスストアなどに置いてある申込書に記入し同町少子化対策室に持参するか郵送、ファクスする。ホームページ〈http://www.town.tonosho.kagawa.jp/〉からの申し込みも可能。

問い合わせは同町少子化対策室〈0879（62）7016〉。

プロの歌声に驚き

幼稚園で出前コンサート

テノール歌手・上原正敏さんと、ピアニスト・北村昌子さん（ともに東京）を迎えたコンサートが二十一日、丸亀市幸町の丸亀聖母幼稚園であった。園児たちは、一流のプロが奏でる生の音楽の魅力を体で感じ取った。

上原さんはオペラやリサイタルで国際的に活躍する一方、子どもたちのための出前コンサートを続ける歌手。今回はクラシックやミュージカルの世界でも出演機会の多い北村さんとともに、丸亀京極ライオンズクラブ（藤本清会長）が招いた。

清らかな宗教曲やピアノ曲、イタリア民謡やカンツォーネなど六曲を歌い、約百人の園児が鑑賞。子どもたちは最初、迫力のある歌声に驚くばかりだったが、トークを交えたステージに少しずつ引き込まれ、手をたたいたり一緒に歌うなどしてにぎやかに楽しんだ。

コンサートは富熊小と郡家小でも開いた。

園児らに一流プロの音楽を聴かせた出前コンサート＝丸亀聖母幼稚園

工夫した舞台に拍手

地域住民とふれあい交流

坂出市府中町の香川大学付属特別支援学校（田中健二校長）で二十三日、同校の生徒らが地域の人たちと交流する「ふれあ

香大付属支援学校